

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスおひさま津山事業所		
○保護者評価実施期間	R7年 2月 3日		～ R7年 3月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 9名
○従業者評価実施期間	R7年 2月 3日		～ R7年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児一人ひとりに合わせた個別支援計画を立案し、それぞれの状態や目標に合わせた活動を提供していること。	利用児の発達段階や特性を考慮し、一人ひとりに合わせたグループ活動、個別課題に取り組んでいる。初めは難しいと思われる課題もスモールステップで取り組み、全員での活動が難しい場合も、職員と一対一から初めて、少しずつ少人数グループに慣れるよう支援をしている。	現在、職員数不足のため個別療育は最低限になっているが補充され次第、個別療育も充実させていきたい。
2	小学生から高校生まで、幅広い年齢層での他利用児との関わりがあること。	一日のうち短時間でも他の利用児と関わりが生まれるようグループによる活動を設定している。障害の重さに関わらず、自然と助け合いが生まれ、情緒や社会性の面で良い関わり方ができると好評を得ている。	年齢層の幅を活かし、保護者間でも将来に向けての相談など年少の方から年長の方ができる環境が整うよう、保護者会イベント等でそれぞれ顔のわかる関係づくりができるよう検討していきたい。
3	子どもが安心感をもって通所できていること。	療育を続けていくうえで、安心安全の確保は最も大切なこととなるので、真心をこめたサービスの提供、丁寧な保護者対応や連絡帳の記入などにつとめている。	こまめな連絡をとっていくためのツールとして、ラインの導入をしてほしいという声が複数上がっているため、今後検討していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人材不足により、臨時的に土曜日を閉所していること。	近年、募集に対する応募が少なくなっていることや、求人広告の増強、ハローワークでの面接会の開催、有料求人サイトへの求人掲載など、様々なアプローチをしているが効果が少ないこともあり、職員の必要数の確保が年々難しくなっていると感じる。	求人に対する応募数自体が少ないため、応募があった時点で事業所見学による実際の仕事内容のイメージのすり合わせを行っていくこと、就業後は風通しのよい職場になるよう、意見の言いやすい雰囲気づくりにつとめて、職員の定着率を上げる努力もしていく。
2	少人数での運営が恒常化しているため、外部研修等に参加しづらく職員のスキルアップにつなげにくい現状があること。	人材が必要数確保できない→休みが取りにくく職員のワークライフバランスに影響が出る、一人ひとりの業務負担が高まり離職率が上がる、などのリスクが増える悪循環に陥っている現状がある。また、外部研修等も参加がしにくい他事業所との連携やスキルアップがしにくい状況。	利用者のためにも、現在勤務している職員のためにも、職員補充が早急に望まれている。
3	施設が狭いため、パーソナルスペースを広くもちたい利用児にとっては窮屈な環境となっていること。	施設移転の可能性も視野に入れ、物件探しもしているが距離等の希望の条件に沿うものがなかなか見つからない。	現状の資源を利用して運営していくのが精一杯の状況。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービスおひさま津山事業所

公表日 令和7年3月17日

利用児童数 13名

回収数 9名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3	5		1	もう少し広く、全体が見渡せたら、と思います。	施設が狭小のため見通しが効きにくい環境ですが、職員配置を工夫し死角がないよう支援に努めています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	4	1	3	1	土曜日も利用したいが、職員人数が少ないため利用できないのが残念です。職員数の確保を早急をお願いしたいです。	ハローワークでのミニ面接会の開催、有料求人サイトなどへの登録など可能な限りの求人の工夫を行っていますが、現在のところ目標数に達していません。力不足で申し訳ございません。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3	3		3		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6	2		1		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8			1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8			1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8			1		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	1		2	6		
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2		3	4	コロナ・インフルエンザ等感染症が流行することが多くなかなか難しいと思います。	現在は研修会等の情報提供のみにとどまっております。今後、事業所での研修会についても開催を検討していきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	9					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5	3		1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	1		3	5		
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6			3			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9				職員との連絡手段を増やしてほしい。 (特にラインの導入を希望)	今後、検討させていただきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2	1		6		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	1		4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3			6		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	1		1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9				誠実で信頼でき、安心して預けることができます。	嬉しいお言葉をありがとうございます。事業所として、最も大切なことだと思っておりますので今後も安心安全に努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8	1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	7	1	1		土曜日の開所が再開されるとよいと思います。	土曜日の開所については、利用者さまに大変ご迷惑をおかけし申し訳ありません。職員の補充ができ次第、開所の運びとさせていただきますので今しばらくお待ちください。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスおひさま津山事業所				公表日	令和7年 3月 17日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		法令は遵守していますが、利用児の多様なニーズや、年齢が上がって体格が大きくなることを考えるとスペースは狭小と感じます。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5	死角ができないよう職員の配置を工夫しています。	常に見守りが必要な方が多いのですが、職員は必要最低限の配置になっているので、早急な補充が不可欠な状況です。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		可能な限り、障害特性に合わせた配慮をしています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		清掃や消毒を毎日行っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		5		施設狭小のため、個別のカムダウンの部屋は用意できない状況です。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		午前中に毎日ミーティングを行い、午後から勤務の職員にも伝達をしています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		虐待防止研修をはじめ、他事業所と共同で研修をする機会があります。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		ホームページ掲載済みです。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5				

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5		職員の人員不足のこともあり、実際には難しい状況です。補充され次第、検討していきたいです。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		5		職員の人員不足が深刻な状況なのもあり、余裕がない状況です。職員が補充され次第、検討していきたいです。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		PECSや絵カードなどの利用希望があれば、積極的に取り入れています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		職員の人員不足が深刻な状況なのもあり、なかなかそこまでの余裕がない状況です。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		5	現在、該当のアレルギーの利用児なし。必要に応じて対応させていただきます。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		現在該当のケースなし。必要に応じて会議を開催し、可能な限り身体拘束を行わない方向でサービス提供を行っております。		